

抜粹諸系統『金槐和歌集』歌番号対照表

——柳菴重槐本系統賀茂真淵評語本との比較——

犬井 善壽

賀茂真淵が評語を書き入れ合点を施した貞享四年版行『鎌倉右大臣家集』やその転写本が数多く伝存していることは知られているが、そのいわゆる真淵評語本『金槐和歌集』から歌を抜いた写本が幾種も伝わることはあまり知られていない。管見では以下の通りである（括弧内本稿略号）。

西尾市岩瀬文庫蔵『金槐和歌集秀逸』（秀岩）

東海大学附属図書館蔵桃園文庫本『叫芳亭叢書』所収『金槐和歌集秀逸』（秀桃）

は、一九八首（秀岩）・一九七首（秀桃）の歌を載せ、本文は殆ど同一。巻頭に「鎌倉右大臣の哥をみてしるせる詞」が載り、その文の末尾に、「宝暦十年五月心しりのぬしたちの為に賀茂真淵がしるせる也」（秀岩）とある。桃園本も巻頭に同文が載り、外題と内題との下方に「賀茂真淵選」とある。真淵選とされるが、確証はない。『秀逸』と略称する。

大分県立図書館蔵『碩田叢史』所収『金槐和歌集佳調抜』（佳調）

は、「目録」に「鎌倉右大臣家集」とあり、巻頭に「鎌倉の右大臣の家集をよみて書つ 賀茂真淵」の文が載る。『国書総目録』は「鎌倉の右大臣の家集をよみて書つ」を別文献と扱うが、併せて一書と見るべきである。所載歌は一六四首。真淵による抜粹という保証はない。天保五年（一八三四）、真淵評語本から抜粹した本を後藤碩田（貞守）が写したものを、

岩波文庫『金槐和歌集』付録『鎌倉右大臣家集中抜粹』（抜粹）

は、原典は未見。巻末に「此大まうちぎみはひとりいしへのころをこ

のみ玉へども、はじめたるほどのならひくせのなほ残り交はれるも家の集にはあり。さて終にかのけがらはしきことをみそぎ出たらんさまなるをぬきでて奉りぬ。賀茂真淵」とある。一〇四首の歌を載せる。

学習院図書館蔵『千載館抄書』所収『鎌倉右府家集抄出』（抄出）

は、「目録」には「金槐集」とある。内題下方に「金槐和歌集と云 上中下三冊」とあり、次に「宝暦五年三月 賀茂真淵序辞並評有り」とある。詞書は抜かず、歌のみ三五首を抜く。抄出した人物は不明である。

以下、各々の所載歌の実態を把握するために、貞享四年版行本と比較し、各々の歌の載不載を歌番号によって整理し、対照表の形で提示する。

凡 例

抜粹諸伝本の所拠本文となった貞享四年版行本を底本とし、『秀逸』『佳調抜』『抜粹』『抄出』に載る歌を確認し、歌番号によって掲げる。

【部立】 網掛けを施して、部立名を明確に示す。中で、『抄出』は部立名を明示しないが、貞享四年版行本と同一の部類になっている。

【初句・番号】 貞享四年版行本の初句（私意により校訂）と歌番号とを全ての歌について掲げる。近接する位置に初句が同じ歌形である歌が載る場合、第二句等の一部分を併せて添えて、区別する。

【真淵評語本合点等】 真淵評語本には、歌頭に○印等の合点が付される歌がある。各歌について、その合点の有無を確認し、合点のある本を略号によって示す。／印は、当該歌を欠いていることを示す。

調査伝本は以下の通りであり、ここに掲げる順で略号を示す。

菅 茨城大学附属図書館蔵 菅文庫本 『金槐和歌集』

岩 西尾市岩瀬文庫蔵 『鎌倉右大臣家集』

井 犬井架蔵 真淵評語書入本 『金槐和歌集』（上巻ノミ）

- 成 成田山仏教図書館蔵 『鎌倉右大臣家集』
 - 東 東京大学総合図書館蔵 文久三年写『金槐歌集』
 - 平 無窮会図書館蔵 平沼文庫本 『金槐和歌集』
 - 静 静嘉堂文庫蔵 『金槐歌集』
 - 小 彰考館文庫蔵 小山田与清写『金槐集』
 - 狩 東北大学附属図書館蔵 狩野文庫本 『金槐和講集』
 - 南 東京大学総合図書館蔵 南葵文庫本 『金槐集』
 - 上 上田図書館蔵 藤蘆文庫本 『金槐和講集』
 - 筑 筑波大学附属図書館蔵 『金槐歌集』
 - 初 国文学研究資料館蔵 初雁文庫本 天保四年写『金槐和歌集』
 - 雁 国文学研究資料館蔵 初雁文庫本 天保十四年写『金槐和歌集』
 - 玉 鹿兒島大学附属図書館蔵 玉里文庫本 『金槐和講集』
 - 森 大阪市立大学附属図書館蔵 森文庫本 『金槐和歌集』
 - 月 秋月郷土館蔵 『美朝家集』
 - 架 犬井架蔵 真淵評語書入 貞享四年版行本
- 真淵の評語や合点を書き入れた貞享四年版行本は他にも多く伝わるが、以上の十余本の写本および版行本の合点のデータは、抜粹諸伝本の形成に關して、何がしかの参考になると判断し、以上の諸本を掲出する。
- 『秀岩・秀桃』 『佳調抜』 『抜粹』 『抄出』 『秀逸』 『佳調抜』 『抜粹』 『抄出』の順に、それぞれ、その歌が載る場合、その歌番号を掲げる。
- その歌が載らない場合、空白とする。
- なお、「秀岩」の欄で網掛けを施す歌は、「秀桃」と歌順を異にする。
- また、「秀岩」の欄で下線を施した歌は、その後ろに別の歌が載る。例えば「秀岩」の「27」番歌は「秀桃」では「4」番歌であり、この歌は「26」番歌の次の位置に載る、といった具合である。

【定家】 参考のために、定家所伝本系統における歌番号を掲げる（抜粹諸伝本所収歌のみ）。定家所伝本系統の歌番号の頭に「*」印を付したものは、定家所伝本系統内の定家所伝本系列には載らず、群書類従本系列の「一本及印本所載歌」に付載されている歌の番号である。

この「対照表」を読むだけで、以下のごとき事柄が明らかである。

① 所載歌に大幅な差異があり、「秀逸」「佳調抜」「抜粹」「抄出」は、同じく柳宮亜槐本系統からの抜粹とはいえず、それぞれ、定家所伝本系統・柳宮亜槐本系統と対立する「系統」と把握するのが妥当である。

② 『秀逸』『佳調抜』『抜粹』『抄出』は、貞享四年版行本の歌順のまま歌を抜粹している。配列は基本的には柳宮亜槐本系統と同一である。

なお、『秀逸』の二伝本（秀岩・秀桃）は、二箇所歌順が相違する。貞享四年版行本の歌順を尺度にすると、秀桃の歌順が本来である。但し、秀桃の所載歌は一首少なく、その点では、秀岩の本文が本来である。

③ 『秀逸』『佳調抜』『抜粹』『抄出』は、各々に独自の抜粹歌があるところを見ると、相互の直接の書承関係はないと判断してよい。

④ 『秀逸』『佳調抜』『抜粹』『抄出』に抜かれた歌は、殆どが真淵評語書入本において合点等が付されている。合点等の付されていない歌が抜粹されていることもあり、別の尺度も抜粹に与ったようである。

本文語句の差異の詳細については、別に報告する所存である。

(付) 筑波大学日本文学会において、『金槐和歌集』の伝本分類と題する口頭発表を行い（平成十年十一月七日）、稿者がこれまで用いていた『金槐和歌集』の系統名・系列名を一部修正した。本稿はそれによる。「柳宮亜槐本系統」は以前は「貞享本系統」と呼んだ。

抜粋本諸系統 歌番号対照表 (1-45)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粋	抄千	定家
春 <small>今朝</small> くれば	1	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	1	1		1	1	1
九重の	2				1			2
山里に	3	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	2	2		2		7
うちなびき	4	平静小 南						
かきくらし	5	菅 成東平静小 南上筑初雁玉森 架架						
春は先づ	6	菅 成東平 小 南上筑 雁玉 架	3	3				5
朝霞	7	菅 成 平静小 南 筑 雁玉森	2	4	2	3		3
塩釜の	8	静小 筑						
いかにして	9	平						
大かたに	10	/						
み冬つぎ	11	菅 / 東平静小 南上筑初雁玉森 架						
おしなべて	12	/						
ふか草の	13	/						玉
草ふかき	14	/ 静小 五月	4	5	3			540
春くれば	15	菅岩井/ 平静小狩南上筑初雁玉森 架	5	6		4		14
春雨の	16	/						
若菜つむ	17	岩 / 東平静小狩南上筑初雁玉森月架	6	7	4	5		10
春日野の	18	/ 筑						
松の葉の	19	//						
春来ては	20	/						
古寺の	21	/						
梅が枝に	22	/						
春風は	23	菅岩 / 平静小狩南上筑初雁玉森月架	7	8	5	6		18
梅の花	24	//						
我宿の	25	菅岩 / 平静小狩南上筑初雁玉森月	8	9				36
咲しより	26	/						
我袖に	27	/ 筑						
さりともと	28	/ 筑 筑						
鶯は	29	/ 筑 筑						
年ふれば	30	/ 筑						
故郷に	31	/						
誰にかも	32	菅岩 / 東平静小狩南上筑初雁玉森						
梅が香は	33							
梅が香を	34							
このねぬる	35	菅岩井成東平 狩南上筑初雁玉森月架	9	10	6	7		16
我宿の梅花	36	菅岩井成 平 小狩南上 初雁玉森 架架	10	11		8		29
梅の花	37	岩井成東平 小狩 筑初 玉森 架架						
我宿の梅初	38	菅 南上 雁						
春くれば	39							
青柳の糸もて	40							
青柳の糸より	41							
水たまる	42	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森月架	11	12	7	9		25
あさみどり	43	菅 成東平静小 南上 初雁玉森 架						
早蕨の	44							
桜花散まく	45	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	12	13	8	10		63

抜粋本諸系統 歌番号対照表 (46-90)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粋	抄千	定家
桜花散らば	46	音岩井成東平静小狩南上筑 玉 架	13	14	9	11		64
み吉野の山下	47	静小 筑 玉				12		75
み吉野の山の	48	井 静小						
み吉野の山に	49	音岩 成 平静小狩 筑初雁玉森 架	14	15	10	13		59
み吉野のこも	50							
音に聞く	51							
葛城や	52							
雨降ると	53							
今日も又	54							
道遠み	55							
時の間と	56	静						
桜花咲散る	57							
花を見む	58							
今しはと	59							
木のもとに やどりば	60	音岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架 架						
木のもとに やどりを	61	音岩井成東平 狩南上筑初雁玉森 架	15	16		14	2	53
木のもとの	62				11			51
尋ねても	63							
里は荒れぬ	64							
尋ね見る	65							
名にしはば	66							
逢坂の嵐	67							
逢坂の関の	68							
咲にけり	69							
心憂き	70					15		92
行きて見む	71	音 成 平静小 南上筑初 玉森 架						
桜花	72							
春来れど	73							
山桜散らば	74							
瀧の上の	75							
山風のまく	76	岩井成東平 狩 初 玉森 架	16	17		16	3	71
山風のまきの	77	音 南上筑			12			88
山桜木々の	78							
行く水にか	79							
桜花散りか	80							
桜花咲きて	81							
桜花移ろふ	82							
風吹けば	83	音岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架						
春は来て	84	音岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	17	18		17		79
山深み	85	音岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	18	19	13	18		78
山桜あだに	86							
山桜今はの	87							
今年さへ	88							
散りぬれば	89							
さざ波や	90	岩井成東平静小 南上筑初雁玉森 架	19	20	14	19		89

抜粹本諸系統 歌番号対照表 (91-135)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粹	抄千	定家
春深み嵐の	91							
春来れば	92							
咲けばかつ	93							
春深み花散	94	菅岩 成東平静小待南上筑初 玉森 架	20	21	15			95
道すがら	95							
桜花咲ける	96							
風騒ぐ	97							
眺むれば	98							
故郷は	99							
誰住みて	100	菅岩井成東平静小待南上筑初雁玉森 架	21	22	16	20		34
住吉の	101							
難波潟	102							
眺めつつ	103							
雁がねの	104							
あをによし	105	菅 井成 平静小待南上筑初雁玉森 架	22	23	17	21		41
高円の	106							
おのが妻	107							
浅芽原	108							
立ちかへり	109	菅岩井成 平静小待南上筑初 玉森 架	23	24	18	22		107
田子の浦の	110							
いとはやも	111	菅岩井成東平静小待南上筑 雁玉 架	24	25	19			110
故郷の	112							
山吹の 雲	113							
山吹の 盛	114							
玉藻刈るし	115	菅 平静小待南上 初雁 森 架	25	26	20	23		106
玉も刈る風	116	菅 成 平静小待南上筑初雁玉森 架	26	27	21	24		105
声高み	117							
立ちかへり	118							
いま幾日	119							
我宿の	120							
春雨の	121							
我心	122							
おのづから	123							
散り残る	124							
春深み嵐	125							
眺め来し	126							
いづかたに	127							
行く春の	128							
朝ぎよめ	129							
惜しむとも	130							
聞かざりき	131							
見てのみぞ	132	菅 成東平静小待南上筑初雁玉森						
夏 惜しみこし	133		28	28		25		117
夏衣	134	菅 成東 静小待南上筑初雁玉森 架						
春過ぎて	135	菅 成東平静小 南上筑初雁玉森 架	29	29	22	26		119

抜粋本諸系統 歌番号対照表 (136-180)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粋	抄千	定家
我宿の	136							
神まつる	137							
五月待つ	138							
郭公必ず	139							
郭公聞くと	140							
初声を	141							
夏衣	142							
山近く	143	菅岩井成 平静小持南上筑 麗玉 架					4	124
夕闇の	144							
五月闇覚束	145	静小	30	30	23	27		144
五月闇神無	146							
五月闇さ夜	147	静小	31	31	24	28		*666
郭公なく声	148							
足引の木隠	149		32	32				125
足引の山時	150	菅岩井成東平静小持南上筑初麗玉森 架						
有明の	151	静小	33	33	25	29		128
五月雨に	152	静小	34	34	26	30		135
五月雨の露	153						5	136
五月雨の雲	154	菅岩井成東 静小持南上筑初 玉森 架	35	35		31		137
葛城や	155							
玉くしげ	156							
五月山	157							
皆人の	158							
郭公聞ども	159	菅 井成東平 南上筑初麗玉森月架	36	36	27	32		141
古へを	160							
うたたねの	161	平静小	37	37				140
袖濡れて	162							
五月雨に水	163							
五月雨は	164	玉						
五月山覚束	165							
ゆかしくは	166							
さ夜更けて	167							
岩くぐる	168							
かきつばた	169							
夏山に	170							
泉川	171							
夏深み	172							
秋近く	173							
夏はただ	174							
昨日まで	175	菅岩井成東平静小持南上筑初麗玉 架						
み萩する川	176							
み萩する萱	177							
我国の	178							
あだ人の	179							
秋 昨日こそ	180	菅岩井成東平静小持南上筑初麗玉森 架	38	38	28			155

抜粹本諸系統 歌番号対照表 (181-225)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粹	抄千	定家
眺むれば	181							
夕されば衣	182	音岩井成東平 小狩南上筑初雁玉森 架	39	39	29	33		162
霧立ちて	183	音岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架						
うちはへて	184							
野となりて	185							
住む人も	186							
秋は早	187							
今よりは	188	音岩 成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	40	40	30			*671
吹く風は	189	音岩井成 平 小狩南上筑初雁玉森 架						
ことしげき	190							
独り行く	191							
天の川水泡	192		41	41			6	164
久かたの	193							
彦星の	194	音岩井成東 狩南上筑初雁玉森	42	42	31	34		166
夕されば秋	195	音 初 玉	43	43				167
天の川 霧	196	音 南 玉	44	44	32			168
恋ひ恋ひて	197							
七夕の	198	音 南 初 玉	45	45	33	35		170
今しはも	199	音 静小 南 初 玉	46	46	34			171
天の原	200	音岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森						
秋風に夜の	201	音岩井成 平 狩南上筑初雁玉森	47	47	35	36		173
眺めやる	202							
野辺に出て	203							
秋萩の	204	初 玉						
見る人も	205							
花に置く	206							
秋風はいた	207							
故郷の	208							
道のべの	209	音岩井成 平静 狩南上筑 玉 架	48	48	36	37		178
萩の花	210							
朝ぼらけ	211							
たそがれに	212	音岩 成東平静小 南上筑初雁玉森 架	49	49	37	38		186
我のみや	213							
夕されば野	214	音岩 成 平静小 南上 雁玉 架	50	50	38			191
藤ばかま	215							
秋風に何句	216	平	51	51				181
余所に見て	217							
白露の	218							
秋風はあや	219	音岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	52	52	39	39		196
風を待つ	220	筑						
うづら鳴く	221	音岩井成 平静小狩南上筑初雁玉森 架	53	53	40	40		558
久かたの	222	音岩井成東平 小狩南上筑初雁玉森 架	54	54	41	41		229
夕されば稻	223	音岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架					7	227
雁のゐる	224	音岩 成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	55	55	42	42		228
わたのはら	225	成東平静小 初 玉 架						

抜粹本諸系統 歌番号対照表 (226-270)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粹	抄千	定家
九重の	226							
鳴き渡る	227	き 成 平静小 南上筑初雁玉森 架	56	56		43		219
天の戸を	228	岩井 狩 筑						
天の原振り	229	菅岩井成 平 狩南上 初雁玉森 架	57	57	43	44	8	217
むば玉の	230							
雁鳴きて	231	菅岩井成東平 狩南上筑初雁玉森 架	58	58	44	45		204
秋風に山飛	232	岩	59	59	45	46		224
足引の山飛	233							
雁がねは	234	菅岩井成東平静小 狩南上筑初雁玉森 架	60	60	46	47		226
妻恋ふる	235	菅 成 平静小 南上筑 雁玉 架						
夕されば霧	236							
雲のゐる	237	菅岩井成東平 小狩南上筑初 玉森 架	61	61	47	48		237
月をのみ	238	雁						
さ夜更くる	239							
朝まだき	240							
朝さ牡鹿の	241	/						
萩が花	242	静小			48			193
朝な朝な	243	成 平静小 狩南上筑初雁玉森 架			49			192
秋萩の	244							
鳴く鹿の	245							
山田守る	246	静小	62	62	50			233
から衣	247							
小笹原	248	玉						
庭草の	249							
頼めこし	250							
秋深き	251	菅岩井成東平静小 狩南上筑初雁玉森 架	63	63				206
浅茅原	252							
秋の夜の	253							
蟋蟀鳴く	254	玉						
蟋蟀夜半	255							
野辺見れば	256	菅岩井成 平静小 南上筑初雁玉森 架	64	64	51	49		257
ささがにの	257	菅						
声高み	258							
暮れかかる	259	菅 井成 静小 狩南上筑初雁玉森 架	65	65	52	50		199
秋を經て	260							
秋田守る	261							
かくてなほ	262							
眺めやる	263	/						
大方に	264							
秋ならで	265							
玉だれの	266							
秋風はやや	267	菅岩井 平静小 狩南 雁玉 架	66	66	53	51		203
昔思ふ	268							
住吉の	269							
月清み	270	菅 井成東平静小 狩南上筑初雁玉森 架	67	67		52		244

抜粹本諸系統 歌番号対照表 (271-315)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粹	抄千	定家
天の原振り	271	菅岩井成東平 持南上筑初雁玉森 架	68	68	54	53		210
我ながら	272							
思ひ出て	273							
草の庵に	274							
浅茅原 主	275						9	560
行き巡り	276							
大原や	277	静小	69	69				563
わくらばに	278							
たまさかに	279	菅岩井成東平静小持南上筑初雁玉 架	70	70	55			213
伊勢の海や	280							
須磨の蟹の	281							
塩釜の浦	282	菅岩井成東平 小 南上筑初雁玉森 架	71	71	56	54		216
さざ波や	283	菅岩井成 平静小持南上筑初雁玉森 架	72	72	57	55		243
月見れば	284	菅岩井成東平 持南上筑初 玉森 架	73	73	58	56		241
山寒み	285							
久方の月	286		74	74			10	212
秋たけて	287							
さ夜更けて	288							
夜を寒み	289	菅岩井成東平静小持南上筑 雁玉 架	75	75	59		11	247
み吉野の	290							
独人ぬる	291							
濡れて折る	292	菅岩井成東平静小持南上筑初雁玉 架	76	76				256
露を重み	293							
ませの内に	294							
佐保山の	295							
暮れて行く	296							
神無月	297							
初雁の	298	菅岩井成東平静小持南上筑初雁玉森 架	77	77	60			262
雁鳴きて	299	菅岩井成東平静小持南上筑初雁玉森 架	78	78	61			263
今朝来鳴く	300	菅 井 東平静小持 筑初雁玉森 架	79	79				264
雁鳴きて吹	301	菅 井 / 平静小持南上筑初雁玉森 架	80	80		57		260
雁鳴きて寒	302	菅 井成東平 持南上筑初雁玉森 架	81	81	62	58		261
はかなくて	303	平	82	82				271
長月の	304	平	83	83				272
年毎に	305							
虫の音も	306							
秋深み	307							
秋萩の下葉	308							
紅葉葉は	309							
木の葉散る	310							
初瀬山	311							
冬は去ぬ	312	菅岩井成東平静小持南上筑初雁玉森 架	84	84	63	59		275
木の葉散り	313							
夕づく夜	314							
散り積もる	315							

抜粋本諸系統 歌番号対照表 (316-360)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粋	抄千	定家
春といひ	316	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	85	85	64			568
吉野川	317	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	86	86	65			284
初時雨	318	菅岩井成東平静小狩 上筑初雁玉森 架	87	87	66			279
三室山	319							
神無月ふれ	320							
神無月ふる	321							
下紅葉	322							
神無月木の	323							
降らぬ夜も	324	静小						
流れ行く	325							
難波潟	326	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	88	88	67	60		308
大沢の	327							
東路の	328							
花薄	329							
鳥羽玉の	330	平静	89	89	68	61		299
夜を寒み	331							
片敷袖 <small>こ</small>	332							
片敷袖 <small>も</small>	333							
蘆の葉は	334	菅岩 成東平静小狩南上筑初雁玉森 架						
音羽山	335	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	90	90	69	62		303
冬深き水や	336							
冬深み水に	337							
我門の	338	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	91	91	70	63		340
はらの池の	339							
比良の山	340	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	92	92	71	64		305
千鳥鳴く	341	玉						
さ夜更けて	342							
月かげの	343							
天の原	344							
月のすむ	345							
更けにけり	346							
雲深き	347	菅 井成東平静小狩 上筑初雁玉森 架	93	93	72	65		336
もののふの	348	菅岩井成東平 狩南上筑初雁玉森 架	94	94	73	66	12	*677
笹の葉の	349	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉 架	95	95	74	67		335
笹の葉に	350	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	115	96	75	68		*678
夕月夜佐保	351							
降り積る	352							
夕月夜満つ	353							
夜を寒み	354	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	96	97		69		294
月清み	355	菅岩井成東平 狩南 初雁玉森 架	97	98		70		296
風寒み	356	菅岩井成東平 狩南上筑初雁玉森 架	98	99	76	71		298
衣手に	357							
水鳥の	358							
難波潟潮干	359	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	99	100				315
みさごる	360	菅岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	100	101	77	72		317

抜粹本諸系統 歌番号対照表 (361-405)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粹	抄千	定家
奥山の	361	香岩井成東平 小狩南上筑初雁玉森 架						
夕されば篠	362							
夕されば浦	363							
夕されば潮	364	香岩 成 平 静小 南上筑初 玉森 架	101	102	78			318
山高み	365	井 東 狩	102	103				333
見渡せば	366							
眺むれば	367							
久方の	368	香岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	103	104	79	73		*679
深山には	369	香岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	104	105		74		323
巻向の	370	香岩井 東平静小狩南上筑初 玉森 架	105	106	80	75		322
巻の戸を	371							
払へただ	372							
山里は	373						13	326
我庵は	374							
おのづから	375		106	107				329
我のみぞ	376	東						
はし鷹の	377							
鷗ゐる	378	香岩井成 平 静小狩南上筑初雁玉森 架	107	108				622
高砂の	379							
冬ごもり	380	静小	108	109	81	76		311
立ち上る	381							
うちつけに	382							
故郷は	383							
今日もまた	384							
降る雪を	385	香岩井成東平静小狩南上筑初雁玉森	109	110				576
この雪を	386							
主知れと	387							
春待ちて	388							
炭を焼く	389							
雪降りて	390	平						
炭竈の	391							
身に積る	392							
年ふれば	393							
白髪といひ	394							
老いぬれば	395							
打ち忘れ	396	静小	110	111	82			582
足引の山より	397	香 静小	111	112				583
塵をだに	398							
とりもあはず	399							
武士の八十	400	香岩井成東平静小狩南上筑 玉	112	113	83		14	343
白雪の	401	香岩井成東平静小狩南上筑/雁玉森 架	113	114	84	77		344
葛城や	402	/						
老らくの	403							
はかなくて	404							
うば玉の	405	静小	114	115	85			351

抜粋本系統 歌番号対照表 (406-450)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粋	抄千	定家
乳房吸ふ	406							
行く年の	407							
恋春深み	408	/						
思ひのみ	409	/						
牡鹿臥す	410	菅岩/成東平静小持南上筑初雁玉森 架	116	116	86			480
我恋は	411	菅岩/成東平静小持南上筑初雁玉森 架	117	117	87			431
山しげみ	412	/						
夏深き	413	/						
我宿の	414	/						
木がくれて	415	/						
鶺鴒の	416	/						
さ夜更けて	417	/						
逢ふ事を	418	/						
奥山の	419	/						
はみのぼる	420	/						
君に恋ひ	421	菅岩/成東平静小持南上筑初雁玉森 架	118	118	88			407
秋の野に	422	/						
秋の野の	423	/						
物思はぬ	424	/						
足引の尾上	425	菅/成東平 南上筑初雁玉森	119	119	89			373
聞かてただ	426	/						
夕月夜覚	427	/						
月かげの	428	/						
我恋は百島	429	菅岩/成東平静小持南上筑初雁玉森 架	120	120	90			507
夜を寒み	430	/						
枯れ果てむ	431	/						
天の原風に	432	/						
久方の天飛	433	/						
久方の天川	434	/						
我恋は天川	435	/						
今更に	436	/						
藻塩焼く	437	/ 平静小 筑	121	121	91			*687
我恋は初山	438	/ 平 筑 玉 架	122	122	92			374
足引の山が	439	菅岩/成東平静小 南上筑初雁玉森 架	123	123	93	78		*688
奥山の立木	440	/						
奥山の末の	441	/						
白ま弓	442	岩/ 平静小 筑	124	124	94			500
あし鴨の	443	岩/ 平静小	125	125	95			388
沖津島	444	/						
鷗ゐる	445	/						
風吹けば	446	/						
浮き沈み	447	/						
山川の	448	/						
石はしる	449	/						
苔深き	450	/						

抜粋本系統 歌番号対照表 (451-495)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粋	抄千	定家
漏し詫びぬ	451	/						
それをだに	452	/						
余所にても	453	/						
豊国の	454	/						
大荒木の	455	菅岩/成東平静小特南上 初雁玉森 架	126	126	96			496
いそのかみ	456	菅岩/成東平静小特南上 初雁玉森 架	127	127	97			440
淡路島	457	/						
難波渦浦より	458	/						
海人衣	459	菅岩/成東平静小特南上 初雁玉森 架	128	128	98			428
須磨の浦に	460	/						
逢坂の	461	/						
広瀬川	462	/ 玉						
神山の	463	/						
奥山の	464	菅岩/成東平静小特南上 初雁玉森 架	129	129	99	79		490
山城の	465	/						
み熊野の	466	/						
年経とも	467	岩/	130	130	100			439
富士の峰の	468	/ 静						
白山に	469	菅岩/成 平 小特南上 初雁 森 架	131	131				446
葦の屋の	470	/						
伊勢島や	471	/						
東路や	472	/						
涙こそ	473	/						
人知れず	474	/						
から衣	475	/						
我背子を	476	/						
忍山	477	/						
心をし	478	/						
雲のゐる	479	菅 / 成東平静小特南上 初雁玉森 架	132	132	101	80		447
かくてのみ	480	/						
白波の	481	岩/			102			501
わたつみに	482	/						
千早ふる	483	/						
武庫の浦の	484	菅 / 成 平静小 南上 初雁玉森 架	133	133	103			511
田子の浦の	485	/						
我恋は加古	486	/						
思ひ絶へ	487	/						
水茎の	488	/						
風を待つ	489	/						
沖津波	490	/						
君により	491	/						
住の江の	492	/						
住吉の	493	/						
いかにせむ	494	/						
春霞	495	/						

抜粋本諸系統 歌番号対照表 (496-540)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粋	抄千	定家
春やあらぬ	496	/						
思ひきや	497	/						
隠れ沼の	498	/						
我恋は夏野	499	/ 静小 筑	134	133	104			414
秋風に	500	/	135	134				379
時雨降る秋	501	/ 小						
時雨降る大	502	菅岩/成東平静小 筑南上筑初雁玉森 築	136	135	105			385
我恋は逢は	503	/						
暁の 晴の	504	/						
暁の 露や	505	/						
さ筵に露の	506	/						
消えなまし	507	/						
今更に	508	菅 /成東平静小 筑南上筑初雁玉森 築	137	136	106	81		415
五月山	509	菅 /成東平静小 筑南上筑初雁玉森 築	138	137	107	82		401
庭の面に	510	/						
浅茅原跡無	511	/						
浅茅原あだ	512	/						
故郷の浅茅	513	/ 玉	139	138	108			470
さ筵に一人	514	/						
さ筵に幾代	515	/						
来ぬ人を	516	菅 /成東平静 筑南上筑初雁玉森 築	140	139	109			453
陸奥の	517	/						
待てとも人	518	/						
忍ぶれば	519	/						
恨みわび	520	菅 /成 平 筑南上筑初雁玉森 築	141	140	110	83	15	*697
待てとも	521	/						
我袖に	522	/						
数ならぬ	523	/						
月かげも	524	/						
白雲の	525	/						
あだし野の	526	/						
から衣合ぬ	527	/ 静小 筑 玉			111			/
郭公鳴くや	528	菅 /					16	398
郭公来鳴く	529	菅岩/	142	141	112	84		400
郭公待つ夜	530	/						
色をだに	531	/						
我袖の	532	/						
秋萩の	533	菅岩/	143	142	113			381
待つ人は	534	/						
撫子の	535	/						
花により	536	/						
消えかへり	537	/						
七夕に	538	/						
忍び余り	539	菅岩/成東平静小 筑南上筑/雁玉 築	144	143	114			427
雲隠れ	540	/						

抜粹本諸系統 歌番号対照表 (541-585)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粹	抄千	定家
秋の野に	541	岩 / /	145	144	115			372
金掘る	542	音岩 / 成東平静小 南上筑 / 雁玉 架			116	85		487
逢ふ事の	543	/ /						
忘らるる	544	/ /						
津の国の	545	音岩 / 成東平静小 南上筑 / 雁玉 架	146	145	117	86		476
別れにし	546	/ /						
三島江や	547	/ /						
真菰生ふる	548	/ /						
憂き身のみ	549	/ /						
故郷の	550	音岩 / 成 平静小 南 筑初雁玉森 架	147	146	118			475
草深み	551	/ /						
忍ぶ草	552	音岩 / 成東平静小 南上筑初雁玉森 架	148	147	119			468
宿は荒れて	553	/ /						
荒れにけり	554	/ /						
里は荒れて	555	/ /						
契りけむ	556	/ /						
山賤のみ	557	/ /						
時雨のみ	558	/ /						
待つ宵の	559	/ /						
小篠原	560	/ /						
秋の田の	561	音 / 成東平静小 南上筑 雁玉 架	149	148				*700
雁のるる	562	/ /						
難波漏 江	563	/ /						
糴玉鉢の	564	/ /						
草枕 妹に	565	/ /						
草枕 狩菰	566	/ / 南						
旅衣 袂	567	音岩 / 成東平静小 南 上筑初雁玉森 架	150	149	120	87	17	514
旅寝する	568	/ /						
東路のさや	569	音岩 / 成東平静小 南上筑初雁玉森 架	151	150	121	88		*702
みなと風	570	/ /						
やらの崎	571	岩 / 平 筑 玉森 架	152	151	122	89		*704
世の中は	572	音岩 / 成東平静小 南上筑 玉森 架	153	152	123	90		604
露しげみ	573	/ /						
野辺分けぬ	574	/ /						
旅衣 裏悲	575	音 / 成東平 小 南上筑初雁玉森 架	154	153			18	517
旅衣 裾野	576	/ 静	155	154				518
秋もはや	577	/ /					19	519
一人臥す夜	578	/ /	156	155				520
一人臥す露	579	音 / 成 平静小 南上筑初雁玉森 架	157	156	124	91		521
岩がねの	580	/ /						
旅の空	581	/ /						
袖枕	582	/ /						
しなが鳥	583	音岩 / 成 平静小 南上 初 玉森 架			125			524
旅衣 夜半	584	音岩 / 成 平静小 南上筑初雁玉森 架	158	157	126	92		531
逢坂の関の	585	/ 上						

抜粋本諸系統 歌番号対照表 (586-630)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粋	抄千	定家
雪降りて	586	/						
片敷きの	587	/	159	158				529
暁の	588	/						
稀に来て聞	589	/						
稀に来て稀	590	/						
夕月夜	591	/						
空や海	592	/						
箱根路を	593	菅 / 成東平静 特南上筑初雁玉森 架	160	159	127	93	20	639
春雨に	594	/ 静小 玉	161	160				535
春雨は	595	/ // /	162	161				534
旅を行きし	596	/						
夜を寒み	597	菅岩 / 成東平静小特南上筑初雁 森 架	163	162	128			623
かかると折も	598	/						
都べに	599	/ 静						
都より	600	菅岩 / 成東平 小特南上筑 雁玉 架	164	163	129			626
打ち絶えて	601	/ 特						627
岩根踏み	602	/ 玉	165	164	130			625
立ち別れ	603	/						
山遠みとしも	604	/						
来むとしも	605	/					21	425
今来むと	606	/					22	426
沖津波八十	607	/						
浜千鳥	608	/						
上の空に	609	/						
思ひ出でよ	610	/						
結ひ初めて	611	/						
我ゆゑに	612	/ 平 架						
奥山の	613	菅岩 / 成東 静小特南上筑 雁玉 架	166	165	131			650
篠掛けの	614	/						
幾かへり	615	/						
神風や	616	菅岩 / 成 平静小 南上筑初雁玉森 架	167	166	132	94		659
恋しとも	617	/						
いにしへの	618	/						
月冴ゆる	619	/						
八百万	620	/						
男山	621	菅 / 成 平静小特南上筑初雁玉森 架	168	167	133			354
八幡山 種	622	/ 平						
鶴が岡	623	/						
八幡山 鶴	624	菅 / 成 平静小特南上筑初雁玉 架	169	168	134			314
千早ぶる	625	/						
立ち寄れば	626	/						
葵草	627	菅岩 / 成東平静小特南上筑初雁玉森 架	170	169	135	95		653
名にし負はば	628	/						
さ夜更けて	629	菅 / 成東平静小 南上筑初雁玉森 架	171	170	136	96		310
住吉の	630	/						

抜粹本諸系統 歌番号対照表 (631-674)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粹	抄千	定家
月の澄む	631	/						
雪積る	632	音/成 静小狩南上筑初雁玉森 架						
玉津島	633	/ 東						
眺むれば	634	/						
今つくる	635	音岩/成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	172	171	137			652
年積る	636	/						
み熊野の柳	637	音岩/成 平静小 南上筑初雁玉森 架	173	172	138	97		312
五月雨を	638	/						
み熊野の枝	639	音/成 平静小 南上筑初雁玉 架	174	173	139			651
冬ごもり	640	/ 初						
わたつ海の	641	音岩/成東平静小 南上筑初雁玉森 架	175	174	140			642
走湯の	642	音岩/成 平 南上 雁玉 架	176	175	141			644
伊豆の国や	643	音岩/ 平 南上 雁玉 架	177	176	142	98		643
千早ぶるいづ	644	/ 静小 玉	178	177	143	99		366
古りにける	645	/						
いそのかみ	646	/						
かみつけの	647	音岩/成東平静小狩南上筑初雁玉 架	179	178	144			647
里みこが	648	/						
みづがきの	649	/						
大日の	650	/						
塔を組み	651	/						
炎のみ	652	/						
世の中は	653	音岩/成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	180	179	145		23	614
神といひ	654	/					24	618
筑重神といひ	655	/						
姫島の	655	/						
田鶴の風	656	/						
田鶴の松	657	音岩/成東平静小狩南上筑 雁玉森 架	181	180	146	100		*711
君が世は	658	音岩/成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	182	181	147			359
行く末も	659	音岩/成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	183	182	148			357
住の江に	660	/						
行く末の	661	/						
位山	662	/						
岩の上に	663	/						
竹の葉に	664	音岩/成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	184	183	149			*714
なよ竹の七	665	音岩/成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	185	184	150			*715
なよ竹の千	666	/						
相生の	667	/						
岩に住む	668	/						
玉垂れのかめ	669	/						
宿にある	670	/						
千々の春	671	/						
君が世に	672	/						
森重君が世に	591	/						
万代に	673	音岩/成東平静小狩南上筑初雁玉森 架	186	185	151		25	367
朝にありて	674	/						

抜粋本諸系統 歌番号対照表 (675-719)

貞享本初句	番号	真淵評語本合点等	秀岩	秀桃	佳調	抜粋	抄千	定家
君が世も	675	/						
宮柱	676	岩/成東平静小狩南上筑初 玉森 集	187	186	152	101		*719
黒木もて	677	音岩/成東平静小狩南上筑初雁玉森 集	188	187	153			362
今作る	678	音岩/成東平静小狩南上筑初雁玉森 集	189	188	154			*718
大君の	679	/ 筑						
山は裂け	680	音岩/成東平静小狩南上筑初雁玉森 集	190	189	155	102	26	663
東の	681	/ 筑					27	662
我いくそ	682	/						
思ひ出でて	683	音岩/成東平静小狩南上筑初雁玉森 集					28	596
なかなかに	684	/					29	597
道遠し	685	/						
さりともと	686	/ 筑						
世に経れば	687	/					30	602
歎きわび	688	/						
いづくにて	689	音岩/成東平静小狩南上筑初雁玉森 集	191	190	156			600
春秋は	690	/						
豊国の	691	/			157			590
年経れば	692	/					31	588
おのづから	693	音岩/成東平静小狩南上筑初雁玉森 集	192	191	158	103		591
磯の松	694	音 / 平 雁玉	193	192	159			586
梓弓 磯辺	695	/						
大海の	696	/ 筑						
玉(げ)箱根	697	音 / 成 平静小 南上筑初雁玉森 集	194	193	160			638
みちのくに	698	/ 筑						
いつもかく	699	/						
紅の	700	/						
浜辺なる	701	/						
徒人の	702	/						
いにしへの	703	/						
あはれなり	704	/						
うば玉の闇	705	音 / 成 平 上 玉森 集	195	194	161			621
沢辺より	706	/						
朝ぼらけ	707	/						
空蟬の	708	/					32	549
いにしへの	709	/						
難波渦浮筋	710	/						
かくてのみ	711	/					33	609
現とも	712	/						
とにかに有ば	713	岩/ 南上 森					34	611
とにかにあな	714	音 / 東平静小狩 上筑初 玉 集	196	195	162		35	620
世の中に	715	/						
聞きてしも	716	/						
いとほしや	717	岩/成東平静小 南上筑初雁玉森 集	197	196	163			608
物言はぬ	718	/						
時により	719	音 / 成東平静小狩南上筑 雁玉 集	198	197	164	104		619